

市民クラブ

深田 昇



**問** アスルクラロ沼津について、①これまでの支援の成果は。②令和八年度の支援方針は。

**答** 市長／①これまでアスルクラロ沼津に対し、マッチデースポンスとして沼津マツチの開催や小中学生が全ホームゲームを無料で観戦できるアスポートへの協賛、チームカラーの青いシャツを着て応援の機運を高めるオールブループロジェクト等を実施してきた。これらの取組により、二〇二五年のホームゲームの平均入場者数は過去最高となり選手を後押ししたほか、街中の至るところ

で応援装飾が見られるようになるなど、地域に根差したチームとして市民に受け入れられているものと認識している。②二〇二六／二七シーズンは、JFLでの戦いとなるが、市民の気持ちが離れてしまわないよう、オール沼津体制で盛り上げていく必要があると認識している。アスルクラロ沼津の再挑戦をしっかりと後押しするため、これまで実施してきた取組を継続するとともに、クラブ・関係企業団体・市民と連携しながら、Jリーグへの復帰に向けて全力で支援していく。



アスルクラロ沼津への令和8年度の支援方針は

公明党

小泉 宣子



**問** 学校給食について、保護者の負担を軽減する考えは。

**答** 教育次長／国は、子育て世帯への支援を強化する観点から、小学校給食の抜本的な負担軽減を実施することとしているが、国の支援のみでは、本市の小学校給食費を無償化することはできない。このため、令和八年度は不足分を市が負担し、小学校給食費の無償化を実現する。また、中学校給食費についても、物価高騰の中で給食の質を維持するため、給食費の単価を増額するが、市が一部を負担することで、保護者の負担額

を令和七年度と同額に維持するなど、今後も子育て世帯に対する支援を継続していく。

**問** ひとり親家庭の自立支援について、養育費等の取決め等に対する支援の内容と目的は。

**答** 福祉事務所長／子どもの健やかな成長を支えるため、確実に養育費を受け取れる体制が必要であることから、公正証書による取決めや調停申立て等に要する手数料、保証契約を結ぶ際の費用に対する支援も行うことでひとり親家庭の生活の安定につなげていく。

公明党

片岡 章一



空き家対策について令和8年度の取組は

**問** 空き家対策について、令和八年度の取組は。

**答** 都市計画部長／人口減少や少子高齢化などを背景に、増加する空き家問題に対応するため、令和元年度に沼津市空家等対策計画を策定し、空き家対策に取り組んできた。令和七年度で計画期間が終了となることから、社会情勢の変化やこれまでの取組の検証を踏まえ、新たに第二次沼津市空家等対策計画を策定し、令和八年度は総合的な対策をより一層加速させていく。新たな取組としては、空き家の管理や活用に取り組む

NPO法人や民間企業等を空家等管理活用支援法人に指定し、民間活力を生かしたきめ細やかな支援の構築を検討していく。また、空き家が放置される要因の一つである相続登記の未了を解消するため、相続登記に要する費用の一部を補助する新制度を創設し、所有者の明確化と権利関係の整理を促進していく。さらに、空き家の利活用や除却の大きな障壁となっている家財道具等の残置物の処分費の一部を補助するなど空き家の取扱いに苦慮している所有者に対する支援制度を整備していく。

日本共産党沼津市議団

川口 慶



**問** 移住・定住の推進に向けた今後の取組は。

**答** 市長／本市では、移住支援として移住希望者に対するお試し移住補助金の新設や交通費補助の対象拡大など、ニーズに即した支援を実施しているほか、定住支援として移住者交流会を開催し、情報交換の場を提供するとともに、移住後の悩みの解消に努めている。また、移住希望者からは、仕事と住居に関する相談が多いことから、「ぬまづ暮らしオアシス隊」と連携し、仕事や住居探しをサポートするとともに、「ぬま

らぶ」等を紹介し、移住後の暮らしの安定を図っている。さらに、「ぬまづ暮らしオアシス隊」には、空き家を賃貸住宅として貸し出し、一定期間経過後に入居者のマイホームとなるプランを提供する事業者もあり、空き家を生かした住まいのマッチングも推進している。なお、セカンドライフを迎えた後の住まい等の心配については、必要に応じて本市の長寿福祉施策を紹介するなど、不安の解消に努める。今後も本市の魅力発信と定住支援を実施し、さらなる移住者の確保と定住促進に努めていく。

学校給食について保護者の負担を軽減する考えは

人口減少社会において移住・定住を推進する取組は